

日本伝熱学会関西支部伝熱技術フォーラム平成28年度第2回例会

「大阪府立大学 植物工場研究センターの見学と 食品の生産・加工に関する講演会」の報告

日時：平成28年12月1日(木) 13:30～16:55

会場：大阪府立大学植物工場研究センター（〒599-8531 堺市中区学園町1番1号）

伝熱学会関西支部伝熱技術フォーラムの平成28年度第2回例会を大阪府立大学植物工場研究センターにて開催し、工場内の見学と2件の講演の講演会を行いました。同研究センターは経済産業省の支援の下、完全人工光での室内植物生産のための要素技術研究、栽培技術の研究・実証、量産システムの実証等を目的として設立され、次世代植物工場研究開発の国内最大規模の拠点となっています。同センターではレタスなどの主に小型の葉物野菜を対象にした生産システムの研究・開発がなされており、見学会では気流等の環境変化が植物に及ぼす影響を調べるための実験設備や、人工照明の下、無数の野菜栽培パレットが自動搬送システム上に上下左右に並ぶ栽培室などを見学しました。

講演会では、同所副センター長の北宅 善昭 先生から「気流環境と植物」と題して、葉の周囲の気流や湿度、CO₂濃度等の水分蒸散や光合成速度に及ぼす影響について、基礎的な物理から実際に工場で生じる生育不良の問題に至るまで詳しく解説して頂きました。また、近畿大学の明神千穂 先生には「大阪府立大学植物工場産野菜の抗酸化性と栄養価および災害時の食支援」と題して、露地栽培レタスに対する同センター産レタスの抗酸化能力の優位性や、災害時における省エネ調理法をご紹介頂きました。

講演会・見学会には20名の方にご参加頂き、活発な議論が行われました。見学会終了後、意見交換会を開催し、9名の出席者により引き続き活発な議論および意見交換が行われました。



北宅 講師



明神 講師



集合写真